

【 診療科:血液内科 】
【 レジメン登録番号:IG-30 】

〈 R-CHOP療法 〉

投与量	投与経路	投与スケジュール(day)									
		1	2	3	4	5	15	21	
リツキシマブBS	375mg/m ²	div	○								
ドキソルビシン	50mg/m ²	div		○							
エンドキサン	750mg/m ²	div		○							
オンコビン	1.4mg/m ² (max2mg/body)	div		○							
プレドニン	100mg/body	p.o.	○	○	○	○	○				

【1コース期間:21日】

【総コース数:6~8コース】

【適応癌種:CD20陽性 B細胞型 中高悪性度非ホジキンリンパ腫】

【時期: 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソル・コーテフ(100) 1V	div(全開で)
	生理食塩液 50mL	
Rp.2	リツキシマブBS 375mg/m ²	div(添付文書 参考に)
	生理食塩液 500mLで10倍希釈	

〈day2〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ RB 1A	div(全開で)
	生理食塩液 50mL	
Rp.2	オンコビン 1.4mg/m ²	div(全開で)
	生理食塩液 50mL	
Rp.3	ドキソルビシン 50mg/m ²	div(30分かけて)
	5%Glu 100mL	
Rp.4	エンドキサン 750mg/m ²	div(2時間かけて)
	生理食塩液 500mL	
Rp.5	生理食塩液 50mL	div(全開で)

【参考文献:

】

【備考:リツキシマブBS投与の30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の前投与を行うこと。

また、副腎皮質ホルモン剤と併用しない場合は、副腎皮質ホルモン剤の前投与を考慮すること。】

【変法情報①:腫瘍崩壊症候群の防止のために、初回はリツキシマブBS抜きのCHOP療法となることがある。】

【変法情報②:day2をday1やday3に振り替えて投与することがある。】